

点検技術支援性能カタログ

2 アイセイ登録技術

3Dデータを活用した構造物の状態把握(洗掘)

技術番号: BR030038-V0324

<https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/inspection-support/pdf/c/BR030038.pdf>

技術概要: 差分解析することで変化した箇所や変化量を算出する技術。

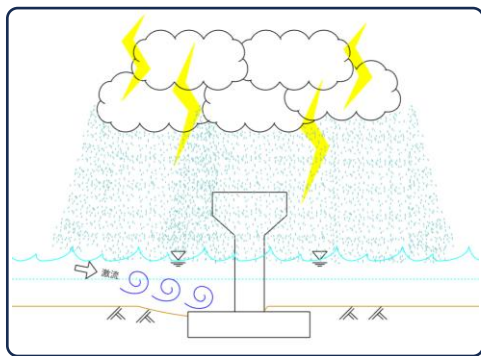
橋梁下部工の傾斜等、構造物の全体的な変化を捉えることが可能。注視する箇所の特定や経時的なモニタリングとしての活用

が可能である。例えば、渡河部にある橋脚を事前に計測データと災害後に計測データを**差分解析**

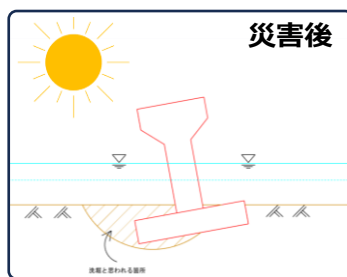
『二時期に計測した点群データを重畳し差分解析を行なう事で構造物の変化を可視化する技術です』

※納入成果品: 損傷図、損傷写真集(協議の上決定)

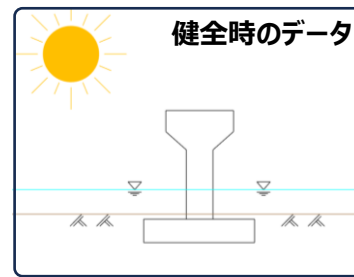
主な調査イメージ



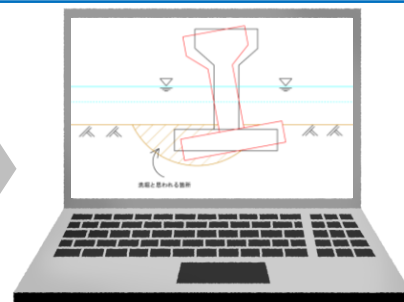
災害が起きた時



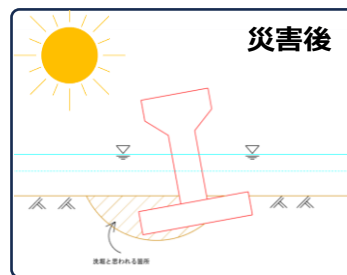
災害後に計測を実施



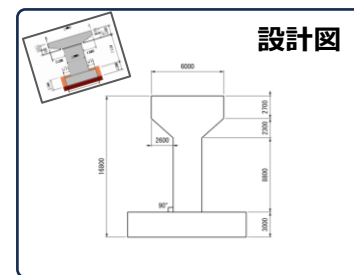
健全時のデータ



取得データを基に差分解析

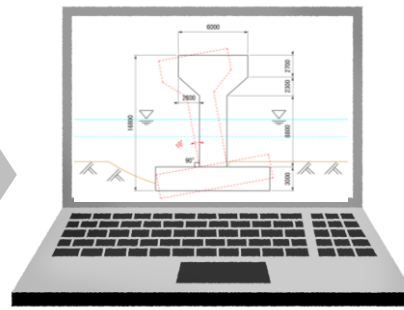


災害後に計測を実施



設計図

過年度データが無くCADがある



取得データを基に差分解析